

令和2年12月16日

在校生・保護者 各位

熊本歯科技術専門学校
学校長 中島 英男

冬季休暇中の新型コロナウイルス感染症対策について

先日、熊本県内の感染状況を踏まえ、リスクレベルが緊急的に最大の「レベル5」の厳戒警報まで初めて引き上がりました。接待を伴う飲食店に起因するものが中心とのことです。

さて、これから冬季休暇に入ります。県内の感染状況等も踏まえ特に年末年始において少人数での会食も不要不急なものは、可能な限り自粛をお願いします。参考までに、感染リスクが高まる「5つの場面」を添付しますのでご覧ください。

また、会食のみならず、不要不急の外出自粛（県外流行地域含む）の徹底と一人ひとりが基本的な感染防止対策（毎日の検温を含む体調管理、手指消毒、マスク着用、こまめな換気等）も引き続き徹底していただくようお願いいたします。教職員にも徹底を要請しています。

最後に、休暇中に発熱や症状が認められた際には、すぐに身近な医療機関・保健所へ電話するか、発熱者専用ダイヤル(TEL:0570-096-567)にご連絡ください。その際には、学校・担任への連絡もお忘れがないようよろしくお願いいたします。

以 上

■在校生冬季休暇期間

令和2年12月19日（土）～ 令和3年1月11日（月）

■休暇後授業再開日

令和3年1月12日（火）

■冬季休暇中の学校閉館期間

令和2年12月26日（土）～ 令和3年1月5日（火）

各レベルにおける県の具体的対策と県民への要請の目安

- ・下表は目安で、対策は、感染の様態を見極め、「対策の考え方・方向性」に沿って、原則としてレベル発表時に合わせて発表します。
- ・対策を実施する地域は毎回検討しますが、特に県民に負荷をかける太字の対策は、要請する地域を十分に検討します。
- ・選時有識者への相談等を行い、戦略的に感染を抑え込む対策を実施します。

リスクレベル	対策の考え方・方向性	具体的対策の目安
レベル5 厳戒警報	<ul style="list-style-type: none"> ・重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 ・大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 ・メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。 	レベル4に加え 【対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・医療提供体制維持のための救命を最優先とした入院調整等 ・クラスター周辺への幅広いPCR検査の更なる拡大及び検査動員 【要請】 <ul style="list-style-type: none"> ・不要不急の県境を越えた移動自粛を要請 ・権事開催や県有施設利用への制限を要請（人数制限等） ・大人数での会食の自粛を要請 ・感染防止対策が不十分な事業者、施設等の休業を要請／時間短縮営業協力依頼等
レベル4 特別警報	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所の体制強化及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 ・メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。 	レベル3に加え 【対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・保健所機能維持のための体制強化 ・クラスター周辺への幅広いPCR検査の実施、事業者や施設等への指導等を実施 【要請】 <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大の原因や、施設等に着目し、事業者や施設等にメリハリを利かせ感染防止対策強化を要請
レベル3 警報	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。 	レベル2に加え 【対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・有症状者及び接触者等へのPCR検査の積極的な動員 ・県有施設の感染防止対策の点検 【要請】 <ul style="list-style-type: none"> ・年代・属性ごとの適切な行動の実施を要請 -中層層：職場での感染予防徹底 -若者層：クラブ活動等における感染予防徹底 ・規模や業種に応じた事業者、施設等への対策強化を要請
レベル2 警戒		【対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・感染者の接触者等へのPCR検査の弾力的運用 ・感染防止対策を実施している店舗の利用動員 ・県有施設の感染防止対策徹底 ・施設、事業者等への感染防止対策指導等 【要請】 <ul style="list-style-type: none"> ・感染が拡大している地域との県境を越えた移動は慎重な判断を要請 ・基本的な感染防止対策の強化を要請 ・高齢者等、重症化リスクの高い者への感染防止対策の徹底を要請 ・介護労働者・医療機関従業者等への感染防止対策の徹底を要請 ・接触確認アプリ「COCOA」の周知及び普及促進の更なる強化を要請 ・家庭内での感染防止対策の徹底を要請 ・テレワーク等の更なる推進を要請
レベル1 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発 	
レベル0 平常	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な対策を啓発 	【要請】 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式の実践を要請 ・接触確認アプリ「COCOA」の導入促進を要請

熊本県ホームページより抜粋

感染リスクが高まる「5つの場面」

別添

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

